



平和のために、何ができるか？ - 高校生平和大使 長崎派遣代表の活動を通して -



長い夏休みが明けました。1学期末の終業式では「沼る」をテーマに、「この夏“沼る”という選択をしてみよう！」という提案をしました。みなさん、どんな沼り方ができたでしょうか。いろんな沼があったことと思いますが、ここに、「沼った人」のおひとりを御紹介したいと思います。

今回の特集は、第28代高校生平和大使・2025年長崎派遣代表に選ばれた、22HRの大塚ほなみさんへの独占インタビューです。志願した理由から活動内容、想いに至るまで、様々な質問に丁寧にお答えいただきました。

(リンク) [2025年静岡選出の平和大使・長崎派遣を決定 | お知らせ | 静岡県平和・国民運動センター](#)

Q1 なぜ、長崎派遣代表に志願したのですか？

幼い頃、戦争を経験した祖父から戦時中の話を聞いてきました。そこから太平洋戦争について興味を持ち、自分なりに様々な映画や本などの作品を通して歴史を学んできました。

そんな中で、学校の授業でこの活動を知り、新学期にCラーニングで募集がかかっていたのを見ました。私が秩序のある平和な世界を実現する力になれるかも知れないと思い、やってみたいなと思いました。ただ、具体的に自分に何ができるのかわからず、部活も忙しかったので不安な部分はありましたが、応募してみるだけしてみようと思い、期限ギリギリで志願しました。



▲爆風により鳥居の半分が吹き飛んだ一本鳥居



▲熱線により人骨とガラスが溶けてくっついたもの

▲全国の非核加盟都市一覧
(長崎原爆資料館)



Q2 これまでどのような活動をしましたか？

静岡県焼津港所属の第五福竜丸の資料館に見学しに行ったり、県内の戦争展に赴きスピーチを行ったり、手話を用いた歌の発表などを行います。今までは焼津市、藤枝市、岐阜市などでスピーチを行いました。また、月に一度静岡駅前前で署名活動を行います。

8月6日から9日の長崎研修では、原爆遺構巡り、原爆資料館見学、原水爆禁止世界大会への参加、慰霊式典などに参列しました。

原爆遺構巡りでは、一本鳥居、被爆楠、長崎医科大学正門、浦上天主堂などを見学し、原爆の威力を肌で感じました。

原爆資料館では、原子爆弾による被害の資料や写真を見るだけでなく、原子爆弾の歴史や世界中にある核兵器を保有する国の一覧などが模型となっていました。館内はととても混んでいて、外国人の方が半数を占めていたように思います。被爆80年を迎え、世界的にも注目されていると感じました。

原水爆禁止世界大会では在外被爆者の方や第五福竜丸にゆかりのあるビキニ環礁のマーシャル諸島出身の方からお話を伺いました。貴重なことに質問をさせていただく機会を頂戴することができ、より深く、抱えている問題の大きさを実感することができました。また全国の平和大使と署名メンバーと交流し、ディスカッションなどを通して、自分たちに何ができるのかを真剣に考え、とても刺激を受けました。1番北は北海道、南は長崎、宮崎まで全国の同じ志を持つ仲間と友達になることができ、とても楽しかったイベントでもありました。

慰霊式典では長崎爆心地公園に静岡県の皆様からいただいた千羽鶴を結び、11:02に黙祷を捧げました。



▲静岡県代表の3人
▼在外被爆者の方に質問
(原水爆禁止世界大会開会式)



Q3 活動を通してどのようなことを感じましたか？

とにかく知識が増えたことにより、今まで無関心だったことが多くあったことを反省しました。特に第五福竜丸のことについては県民である私ですら知らないことだらけでした。焼津市のかまぼこ屋根の会という団体には第五福竜丸で漁労長を務めていた見崎さんのお嬢様や、第五福竜丸についての記事を書いた静岡新聞の元記者の方など被曝された方と関わりのあった皆様からお話を伺うことで、今まで疑問に思っていた出来事などの背景を初めて知ることができ、本当に貴重な経験を頂いていると思います。

私たちは主に核兵器廃絶について力強く訴えています。知れば知るほど核兵器というものがどれほど大きな力を持ち、世界に存在するべきではないものなのかを考えさせられます。

また様々な意見を持つ方々とお話をする機会をいただくことも多く、私たちにはなかった視点からそれぞれの主張を聞けることも勉強になりますし、とても興味深いです。

Q4 長崎派遣代表になったことで、どのような成長ができたと感じますか？

様々な意見を持つ人との対話や、地理的に離れた全国の方々と意見を交換することで多角的に物事を捉えられるようになったと感じます。一つ一つの事件や問題には多くの歴史や背景があり、それをきちんと知り、学ぶことが本質的な理解につながると思うようになりました。

心無い言葉をもらうことや、トラブルで歯痒い思いをすることもありますが、我慢をすることも必要で、その点では忍耐力がついたと思います。知識がついたことで成長を感じる部分もありますが何より人間として成長できたと感じます。



◀爆心地公園で千羽鶴を結んだ時

▼全国のみんなと一年間の署名数発表



Q5 今後の活動予定は？

今後は小学校などへ平和の出前授業を行う予定があります。3人の出身校へ出向き、戦争について考えてもらう機会を設けていただく予定です。また月一の署名活動を継続し、3月1日にはビキニデーのイベントなどにも参加する予定です。任期は来年の5月末ごろまでなのでそれまでスピーチや会見などを行うこともあります。

Q6 みなさんにメッセージをお願いします！

署名活動にご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。生徒の皆様から集まった署名数は296筆、学校全体では326筆となり、全国では昨年より約1万5千筆上回る11万1071筆となりました。9月の初めにこれらの署名はスイスのジュネーブにある国連へ直接お届けいたします。本当にありがとうございました。

私は長崎派遣として様々な活動を通し、改めて核兵器、戦争の恐ろしさを再確認いたしました。二度と80年前の悲惨な歴史が繰り返されないことがないよう、空襲にあった沼津市民として、第五福竜丸が被曝した静岡県民として、被爆国の日本人として過去の過ちを繰り返さないよう力強く訴えていくことは私たちの義務だと思います。

個人の力はとても小さく、署名活動も意味があるのかと思うことも正直あります。ただ、私たちの思いや、訴えや、一筆一筆の署名は人々が核兵器について考え、対話し、政治に意思表示をする世論になっていると確信します。今年の夏、被爆地である長崎に行き、学んだことはこれからの考え方に大きな変化をもたらしたと思います。これらの貴重な経験は、私たちを支援して下さる多くの方々の力があってこそです。生徒の皆様、そして教職員の皆様にご場をお借りして感謝申し上げます。

そして、この活動に興味を持ってくださった皆様にご連絡です。毎月行われる署名活動は中高生誰でも参加可能です。ボランティア証明書も発行されますので、よければ私と署名活動しましょう！興味のある方はぜひ22HRまで。